

決算説明資料

Q1
2026

免責事項

将来見通しおよび連結業績予想に関する注意事項

本プレゼンテーションには、1933年米国証券法（その後の改正を含みます。）第27A条および1934年米国証券取引所法（その後の改正を含みます。）第21E条の規定の範囲内において、リスクおよび不確実性を伴う将来見通しに関する記述が含まれています。将来見通しに関する記述は、一般に将来の事象、または将来の財務若しくは営業成績に関連するものです。これらの記述は、場合により、「期待」、「予想」、「予測」、「意図」、「計画」、「可能性」、「～し得る」、「～する予定である」、「～する見通しである」、「予期する」、「～できる可能性がある」、「～であろう」、「目標」、「投影」、「想定」、「信じる」、「見積もる」、「予見する」、「潜在的」、「目的」、「目標」、「追求する」、または「継続する」、ならびにこれらの用語の否定形、またはその他類似の表現によって識別できる場合があります。本プレゼンテーションにおける将来見通しに関する記述には、通期および四半期の収益および調整後EBITDAを含む当社の将来の営業成績または財務実績に関する期待、特定の主要な財務・営業指標に関する期待、将来の製品開発計画を含む当社の事業および成長戦略、市場機会、新たに提供を開始した製品およびイノベーションの業績、当社の技術的能力、当社の製品およびサービスに対する需要、将来の成長および加速に関する当社の期待および管理、ならびに当社の業界および伝統的な銀行に関する期待、およびこれらに関連する仮定が含まれますが、これらに限定されません。これらの記述には既知または未知のリスク、不確実性、およびその他の重要な要因が含まれており、当社の実際の業績、成果、または実績が、将来見通しに関する記述によって明示または暗示された将来の業績、成果、または実績と著しく異なる可能性があります。これらのリスクおよび不確実性には、次に掲げるような事項に関連するリスクが含まれます。成長を効果的に管理する能力、新規ユーザーの獲得、アクティブユーザーの維持、およびアクティブユーザーとの関係性の深化、当社サービスを利用する新規加盟店の獲得、既存加盟店との関係強化、および決済事業における取引量の拡大、コード決済サービスとクレジットカード決済サービスの相乗効果の維持および拡大、当社プラットフォームのエコシステム効果の維持および強化、当社の連結子会社および持分法適用関連会社の株主との提携関係、日本におけるキャッシュレス決済業界およびデジタル金融サービス業界の拡大および発展の変化、価格戦略の実施およびサービスラインナップの拡充能力、強固で信頼されるブランドの維持、保護、

および強化、技術インフラの維持または改善能力、当社の事業および銀行エコシステムに適用される複雑かつ進化を続ける法令および規制等を含みます。これらのリスクおよび当社の財務成績に影響を及ぼし得るその他の要因に関する追加情報は、当社が米国証券取引委員会に提出した書類（当社のIPO目論見書を含みます。）に記載されています。当社の連結業績予想および目標に関する記述は将来見通しであり、実際の業績が予測と著しく異なる原因となり得る既知または未知のリスクおよび不確実性を伴います。また、新たなリスクや不確実性は随時発生するものであり、本プレゼンテーションに含まれる将来見通しに関する記述に影響を及ぼし得るすべてのリスクおよび不確実性を当社が予測することは不可能です。これらの将来見通しに関する記述は、本プレゼンテーションの日付時点における将来の事象に関する当社の見解を反映したものであり、仮定に基づき、リスクおよび不確実性を内包しています。これらの不確実性を考慮し、将来見通しに関する記述に過度な依拠をすることはお控えください。当社の財務結果に影響を及ぼし得るこれらのリスクおよびその他の要因に関する詳細は、当社の規制当局への提出書類および定期報告書に記載されております。法律で義務付けられている場合を除き、当社は、本プレゼンテーションの日付以降、新しい情報や将来の事象等の結果として将来見通しに関する記述を更新する義務を負うものではありません。

非IFRS財務指標および主要な指標

本プレゼンテーションには、国際会計基準審議会（IASB）が発行した国際財務報告基準（以下「IFRS」）に従って作成された財務情報が含まれています。また、本プレゼンテーションには非IFRS財務情報も含まれておりますが、これらはIFRSに従って算出された財務指標を補完するものであり、代替となるものや、より優れたものとして検討されるべきではありません。本プレゼンテーションに含まれる非IFRS財務指標には、調整後EBITDAおよび調整後EBITDAマージンが含まれます。当社は、営業費用の管理や内部資源の配分を含む戦略的意思決定、予算および予測の作成、事業計画の策定、ならびに営業成績の評価において、IFRS指標と併せてこれらの非IFRS財務指標を使用しております。当社は、これらの非IFRS財務指標が投資家、アナリスト、およびその他の関係者に対し、当社の事業および財務実績に関する有用な情報を提供し、当社の業績に対する全体的な理解を深めるとともに、各期間における財務実績の一貫性のある比較可能な概観を提供する一助となると確信しています。

これらの非IFRS財務指標およびそれらに対応する最も直接的に比較可能なIFRS指標の使用には、多くの制限があります。例えば、当社による非IFRS財務指標の定義は、他社が使用する非IFRS財務指標とは異なる場合があります。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、本プレゼンテーションに添付された財務表をご参照ください。ただし、非IFRS指標から除外される項目の金額や発生時期の予測が困難であるため、合理的な努力の範囲内では、特定の非IFRS財務見通し指標に対応するIFRS指標への調整を、将来見通しに基づいて提供することはできません。前述の事項にかかわらず、調整項目に重大な変更が生じた場合、将来のIFRS業績に大きな影響を及ぼす可能性があることに留意することが重要です。さらに、本プレゼンテーションには、当社の営業成績の評価、事業計画の策定、および戦略的意思決定を行うために使用している主要な営業指標が含まれております。

未監査の財務情報

本プレゼンテーションに記載されている各期間の財務情報は未監査であり、当社の管理上の数値に基づいていることにご留意ください。

業界および市場データ

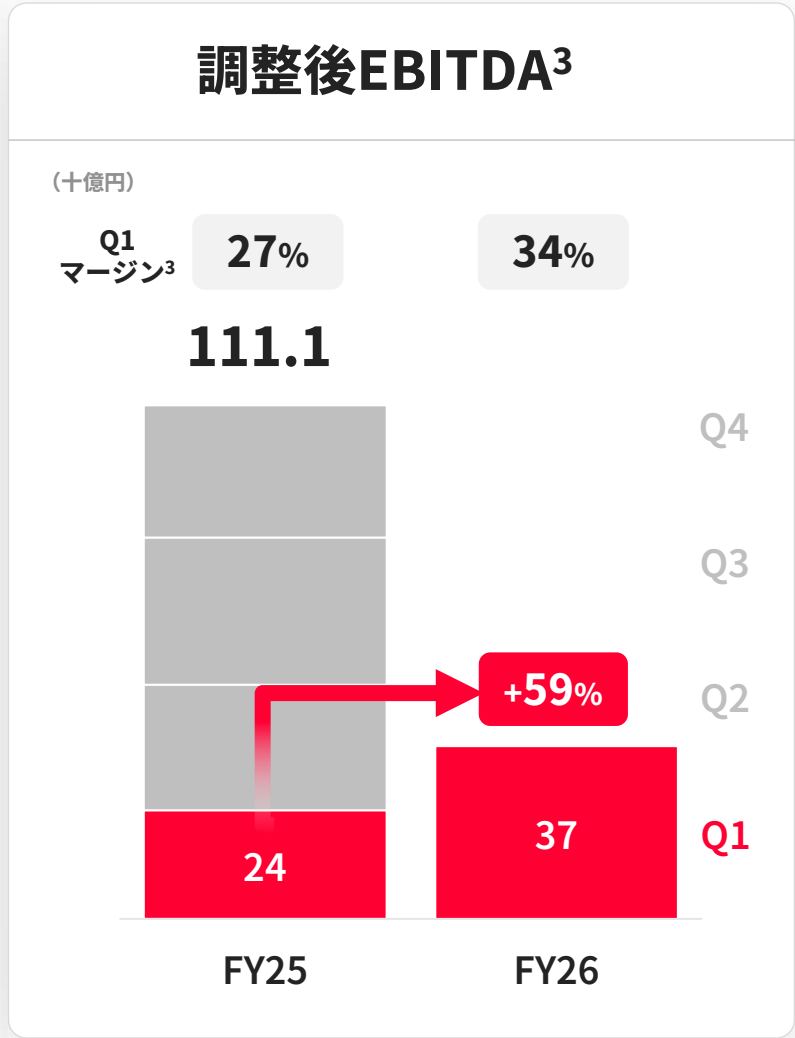
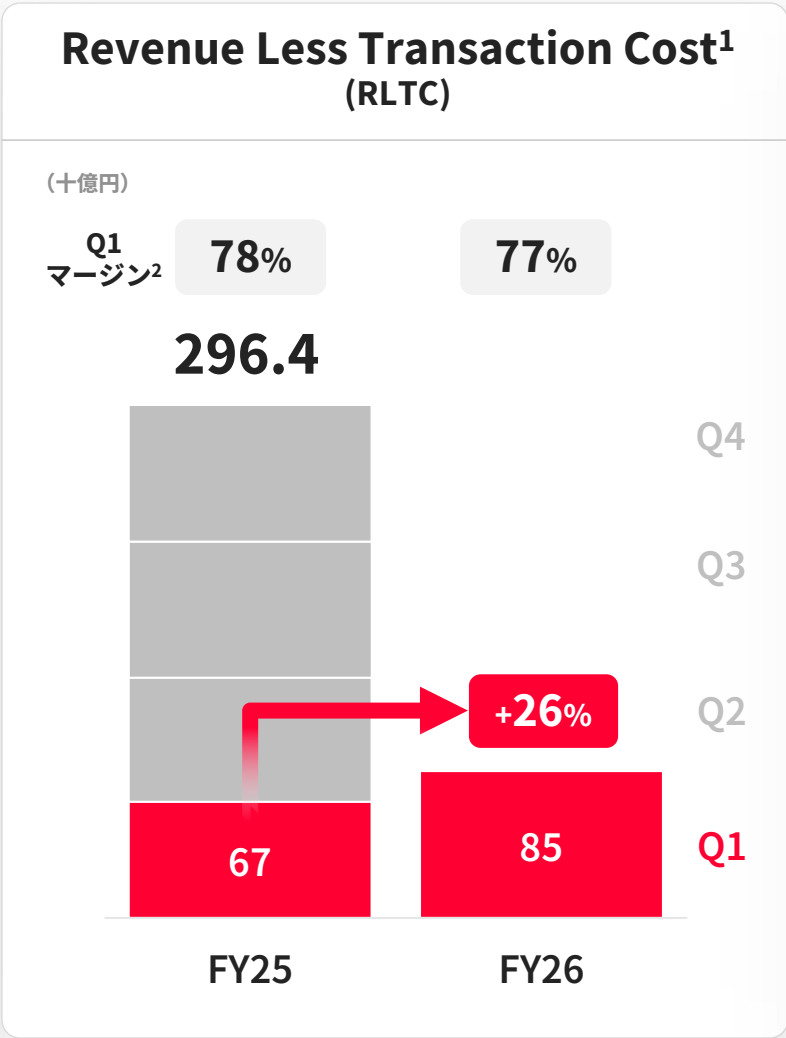
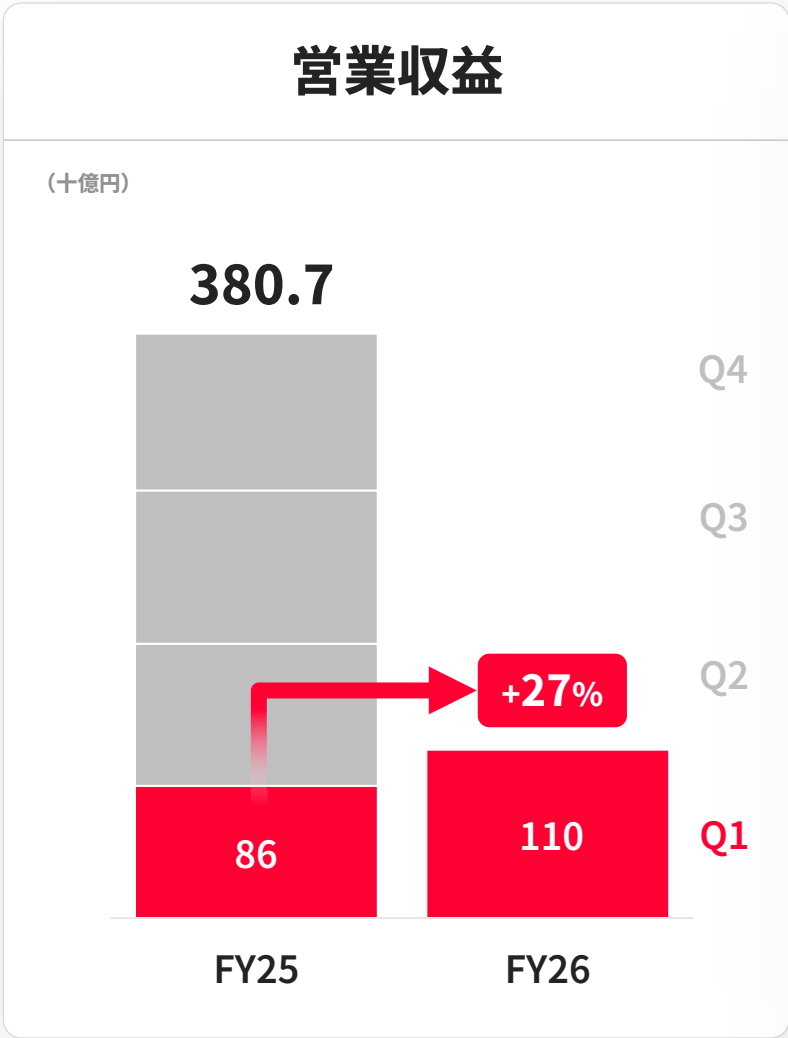
本プレゼンテーションには、第三者機関から引用した情報、推定値、およびその他の統計データが含まれている場合があります。当社は、これらの情報が当該記述の合理的な根拠になると判断していますが、これらの情報は限定的または不完全である可能性があり、当社が独自に当該データの正確性を検証したものではありません。





CEO Message

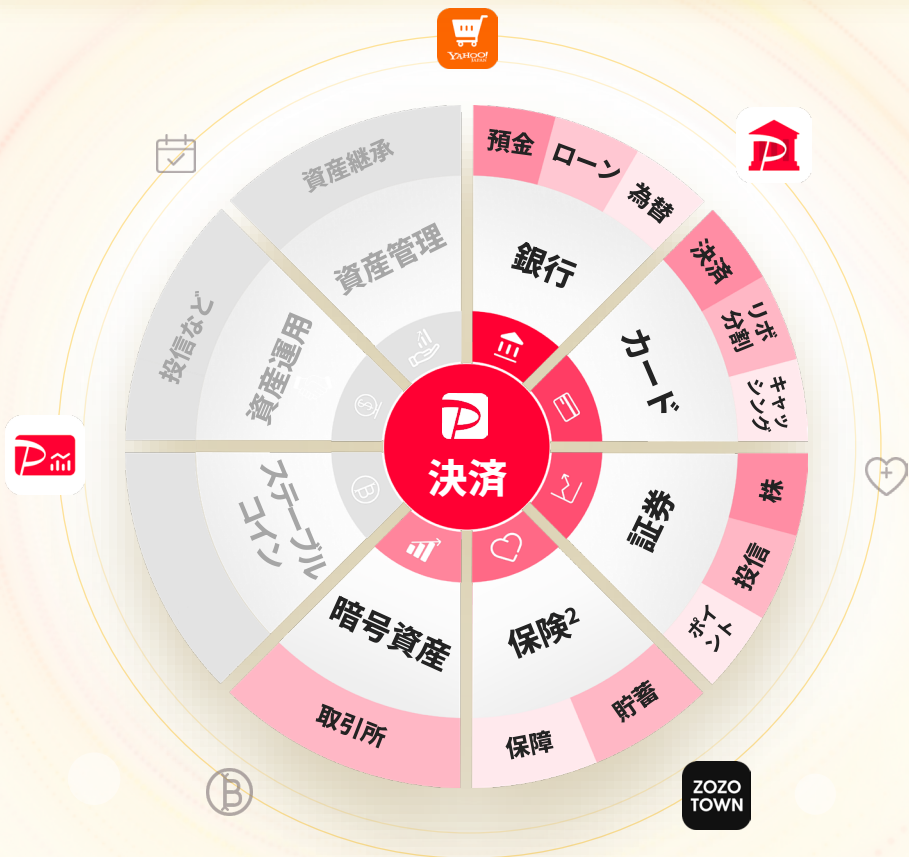
連結業績の概要



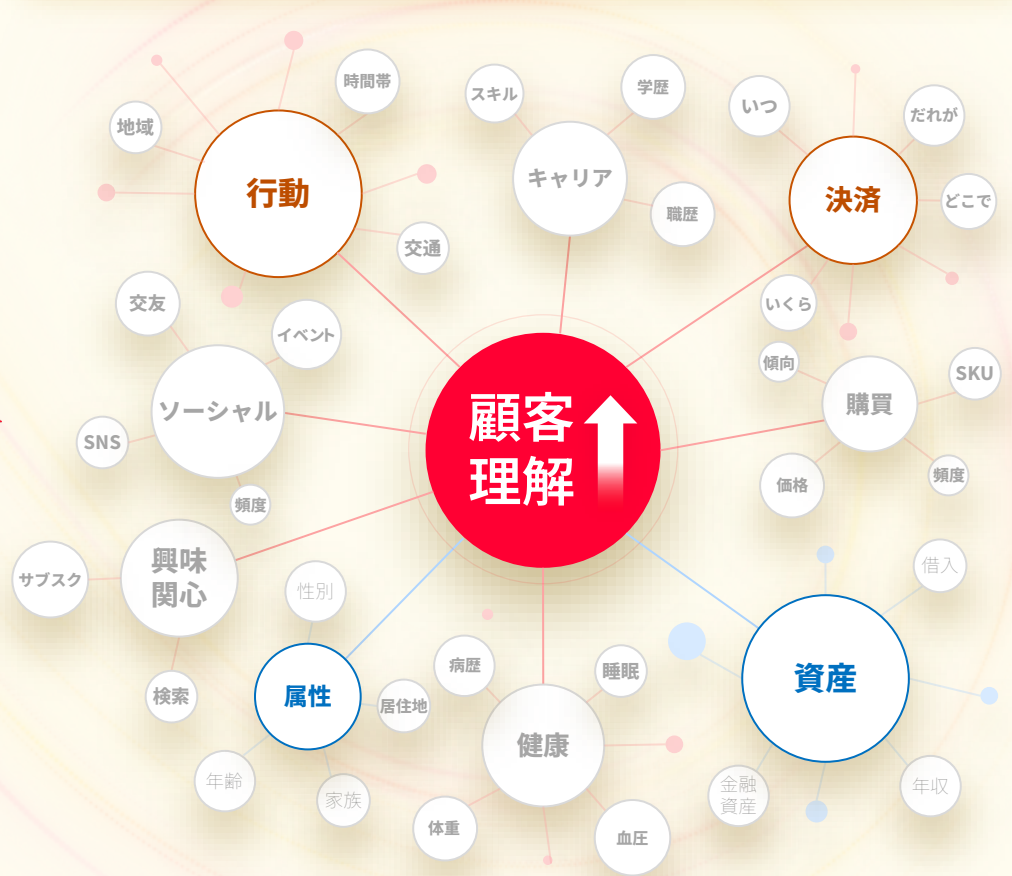
1. 総取引関連費用控除後営業収益 (Revenue Less Transaction Cost, RLTC) = 営業収益 - (決済関連費用 + 貸倒引当金繰入 + 支払利息)
2. 対営業収益の比率
3. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

当社の成長戦略に変更なし、目指すは
国内最大級のデジタル金融プラットフォーム

プロダクト・顧客接点の拡大¹



多様な顧客接点をもたらす豊富なデータ¹

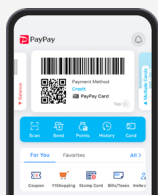


1. グレーで記載しているサービス及びデータはフィンテック企業が提供するサービス及び取得可能なデータの一般的な例示であり、これらの分野への事業展開を示唆または保証するものではありません
2. 当社は2026年6月4日にT&Dフィナンシャル生命保険株式会社の株式の取得を公表しましたが、関係当局等からの必要な許認可の取得等を含む前提条件の充足を条件とした株式譲渡実行日は2027年10月1日を予定しております

T&Dフィナンシャル生命の株式取得¹

1. PayPay顧客基盤の活用

デジタル生保商品を
ラインアップに追加



運用性商品



死亡 / 医療保険

2. 運用の高度化

運用スプレッドを拡大

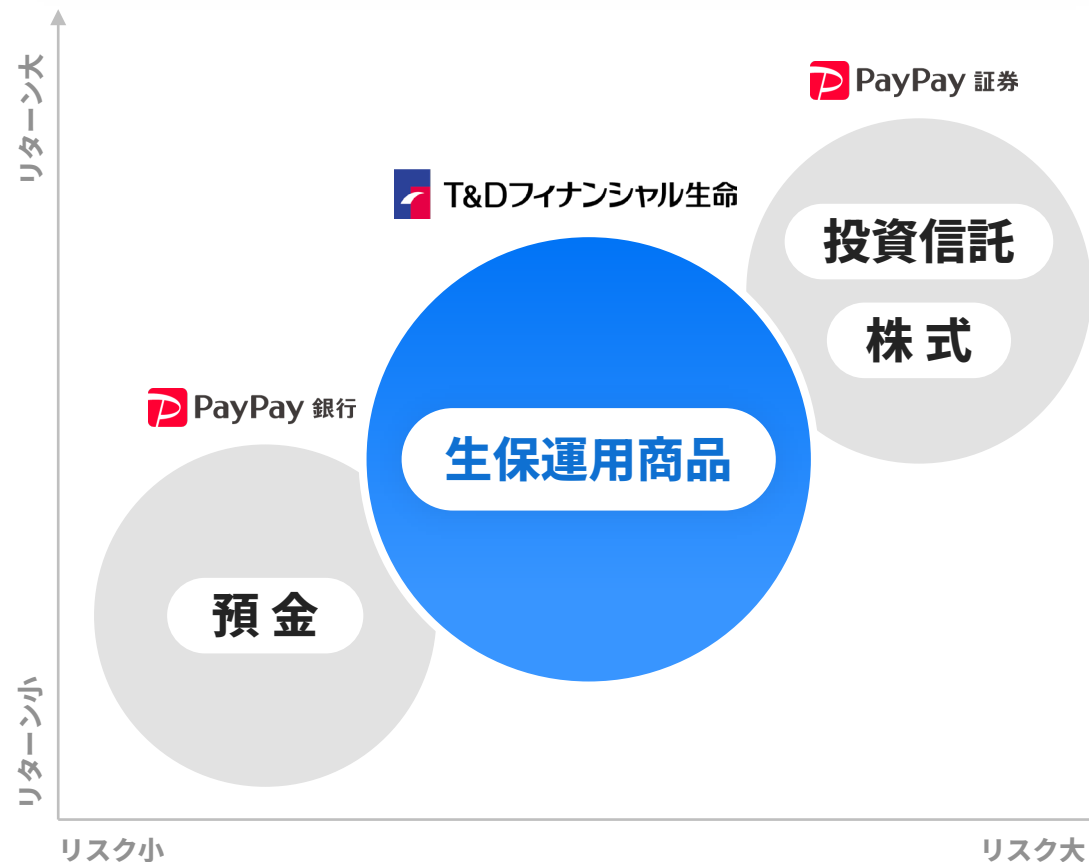


国債中心の運用を
社債運用にシフト



国債中心の運用に
リスク資産の組み込み

銀行と証券の中間的な投資商品を提供



1. 当社は2026年6月4日にT&Dフィナンシャル生命保険株式会社の株式の取得を公表しましたが、関係当局等からの必要な許認可の取得等を含む前提条件の充足を条件とした株式譲渡実行日は2027年10月1日を予定しております

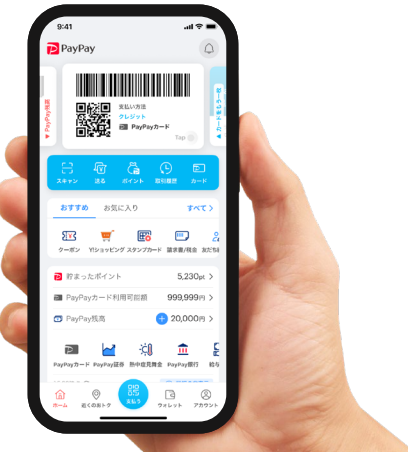
No.1小売¹ × No.1決済²

リアル顧客接点



店舗数：約22,000店舗
来店数：約2,000万人／日

決済プラットフォーム



ユーザーID
データ
ポイント

ユーザー数：約7,500万人
決済回数：約3,000万回／日

1. 株式会社セブン-イレブン・ジャパンの店舗数は国内第一位

2. PayPayの決済回数は、国内第一位

出典：経済産業省「2025年のキャッシュレス決済比率を算出しました」等の公表数値から当社で計算

顧客体験の高度化に向けた戦略的パートナー



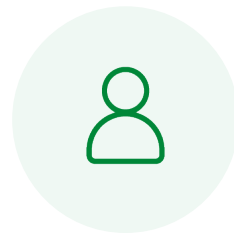
商品開発
調達



物流



店舗運営



会員基盤
ID・データ



販促
ポイント
1to1マーケ



セブン-イレブン
アプリ
UX

顧客体験の高度化に向けた戦略的パートナー



商品開発
調達



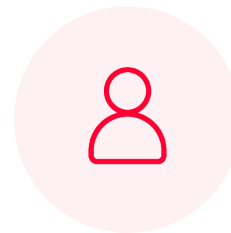
物流



店舗運営



デジタル顧客接点



会員基盤
ID・データ



販促
ポイント
1to1マーケ

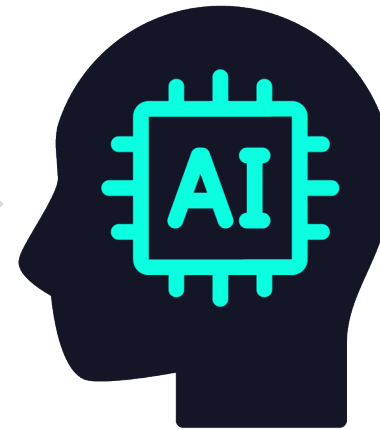


セブン-イレブン
アプリ
UX

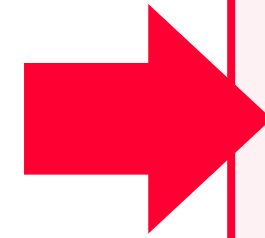
AI時代のLTV向上の長期戦略



年 **180億回¹**の
連続性のあるリアルタイムデータ



AIエンジンで学習



**LTV
向上**

推論し最適化

1. 株式会社セブン-イレブン・ジャパンのID統合後、約3年を経た時点で観測可能となり得る決済関連データ量（非PayPay決済を含む）を、当社が年間換算で試算。
現時点の実績値、将来の目標値または予想を示すものではありません

グローバル展開に向けた戦略

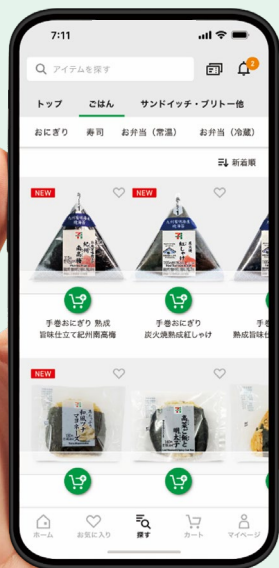


PayPay決済の米国進出



海外コンビニ事業

顧客体験向上による短期成長

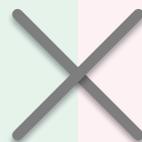


モバイルオーダー

事前決済で
スピーディーに受取

デリバリー

配達可能3,000点／
店頭3,300点



7,500万人の
大規模顧客基盤

潜在顧客への
ピンポイント
アプローチ

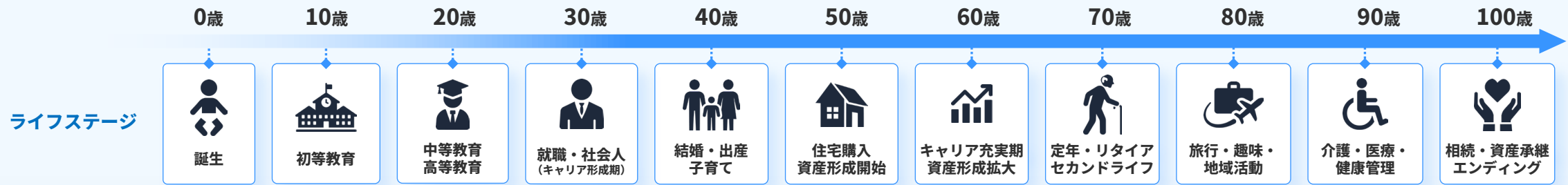


PayPay



100歳までワンストップで支える金融プラットフォーム

人生100年時代：ライフステージに応じた金融サービスをワンストップで提案



主な
金融サービス¹

統一ID

- PayPay コード決済・送金・請求書払い・公共料金 など
- PayPay 銀行 口座・預金・振込・デビットカード・住宅ローン・カードローン・教育ローン など
- PayPay カード クレジットカード・リボルビング・キャッシング
- PayPay 証券 投資信託・株式投資・NISA・iDeCo など

貯蓄型生命保険² 貯蓄型保険・年金保険・学資保険・個人年金保険 など

保障型生命保険² 医療保険・がん保険・収入保障保険・定期保険 死亡保険・終身保険

介護保険・医療保険 介護保険・医療保険・認知症保険 など

信託・資産承継 信託・遺言信託・資産承継コンサルティング など

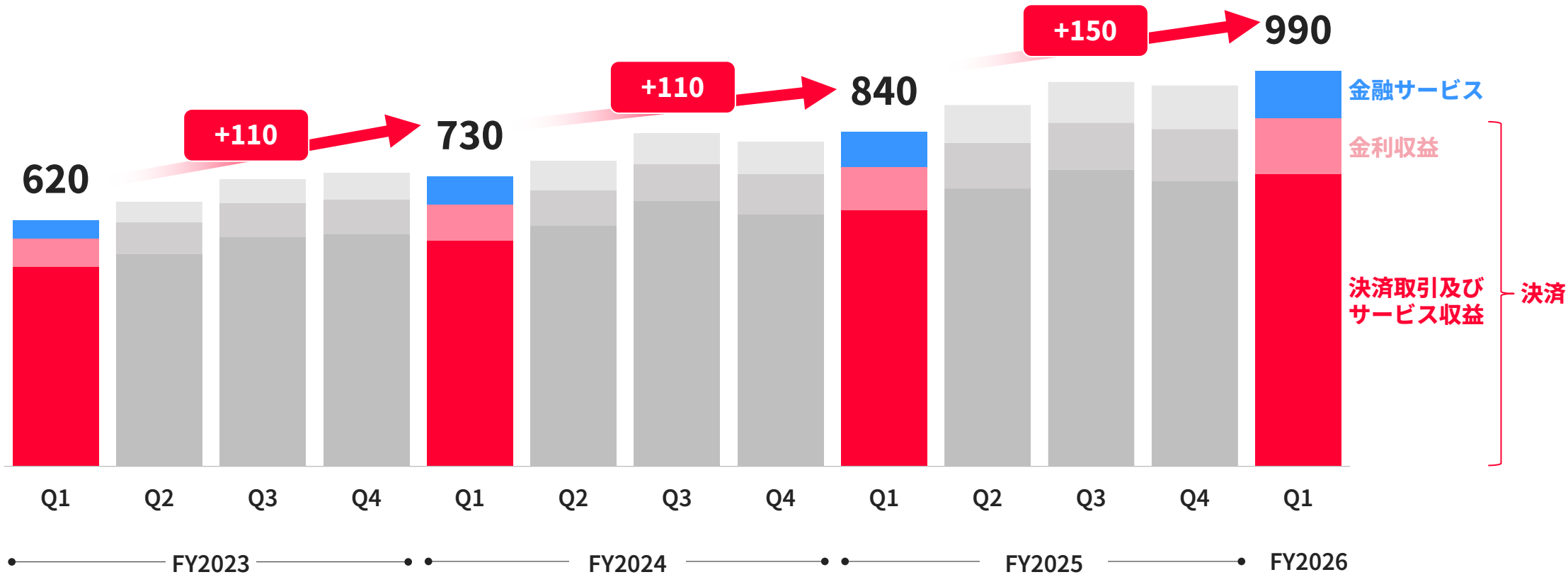
1. グレーで記載しているサービスはフィンテック企業が提供するサービスの一般的な例示であり、これらの分野への事業展開を示唆または保証するものではありません

2. 当社は2026年6月4日にT&Dフィナンシャル生命保険株式会社の株式の取得を公表しましたが、関係当局等からの必要な許認可の取得等を含む前提条件の充足を条件とした株式譲渡実行日は2027年10月1日を予定しております

クロスセルの拡大がARPU向上を促進

管理会計

(ARPU/ 円)



1. ARPUは、PayPay MTUを分母とし、PayPayユーザーによる当社グループのサービス利用拡大に伴う控除前営業収益を分子として算出する、管理会計に基づく当社独自の営業指標です
法人向けサービスに由来する営業収益を中心に、PayPayユーザーの利用拡大に直接連動しない営業収益は原則として除外しています。記載のARPUおよびその変動額は、いずれも10円単位に四捨五入した概数です



Financial Highlights

FY2026 Q1：決算ハイライト

連結

トップライン成長

営業収益
+27%
YoY

収益性向上

調整後EBITDA¹ 調整後EBITDAマージン¹
+59% **34%**
YoY 営業レバレッジ等を背景に

ガイダンス超過

FY26通期ガイダンス
上方修正



決済セグメント

GMV成長

オンライン PayPayカード
+44% **+28%**
YoY YoY

残高成長

リボ+分割 キャッシング
+25% **+57%**
YoY YoY

ポイント特典見直し

GMV影響、費用減ともに
計画どおり



金融サービスセグメント

銀行、新体制へ移行

UI/UX、戦略（価格や新商品等）**を見直し**
次期システム計画を刷新

顧客基盤成長

銀行口座 証券口座 貸出残高
1,000万 **+29%** **+37%**
達成 YoY YoY

1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

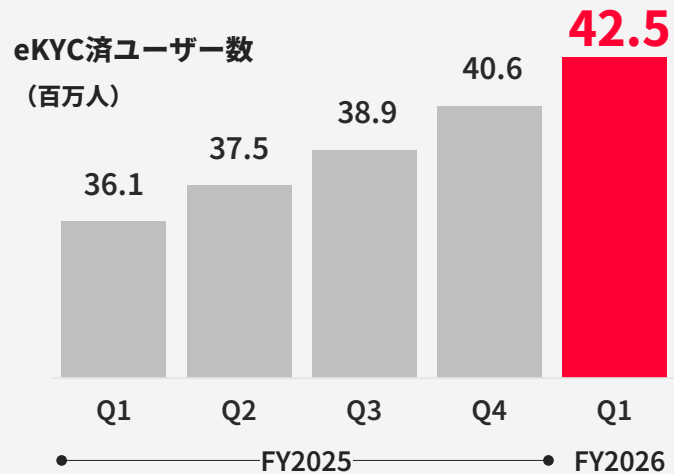
FY2026 Q1：主なトピック

2026年6月～

ポイント特典見直し

1

eKYC化進展



2

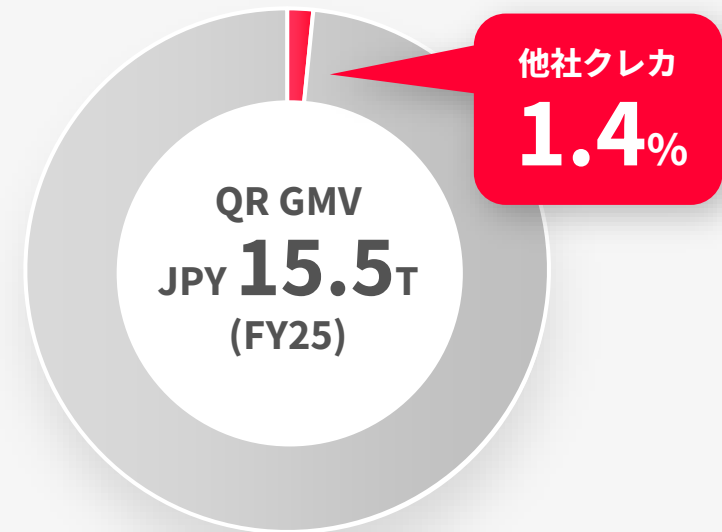
26年6月単月 約10億円 費用減 (営業収益控除分を含む)

1. 現時点における見通しであり、今後の状況等により変動する可能性があります

2026年7月～

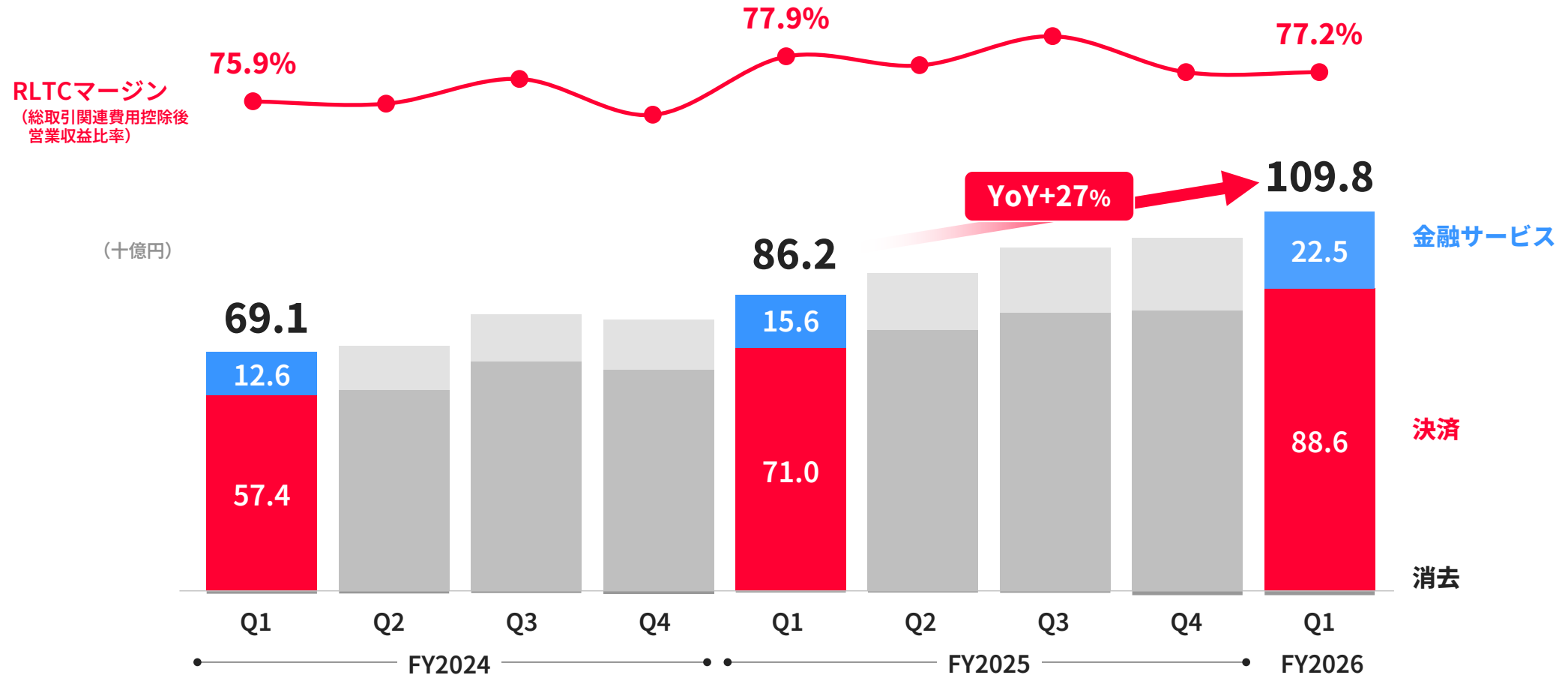
他社クレカでの利用方法の変更

赤字解消

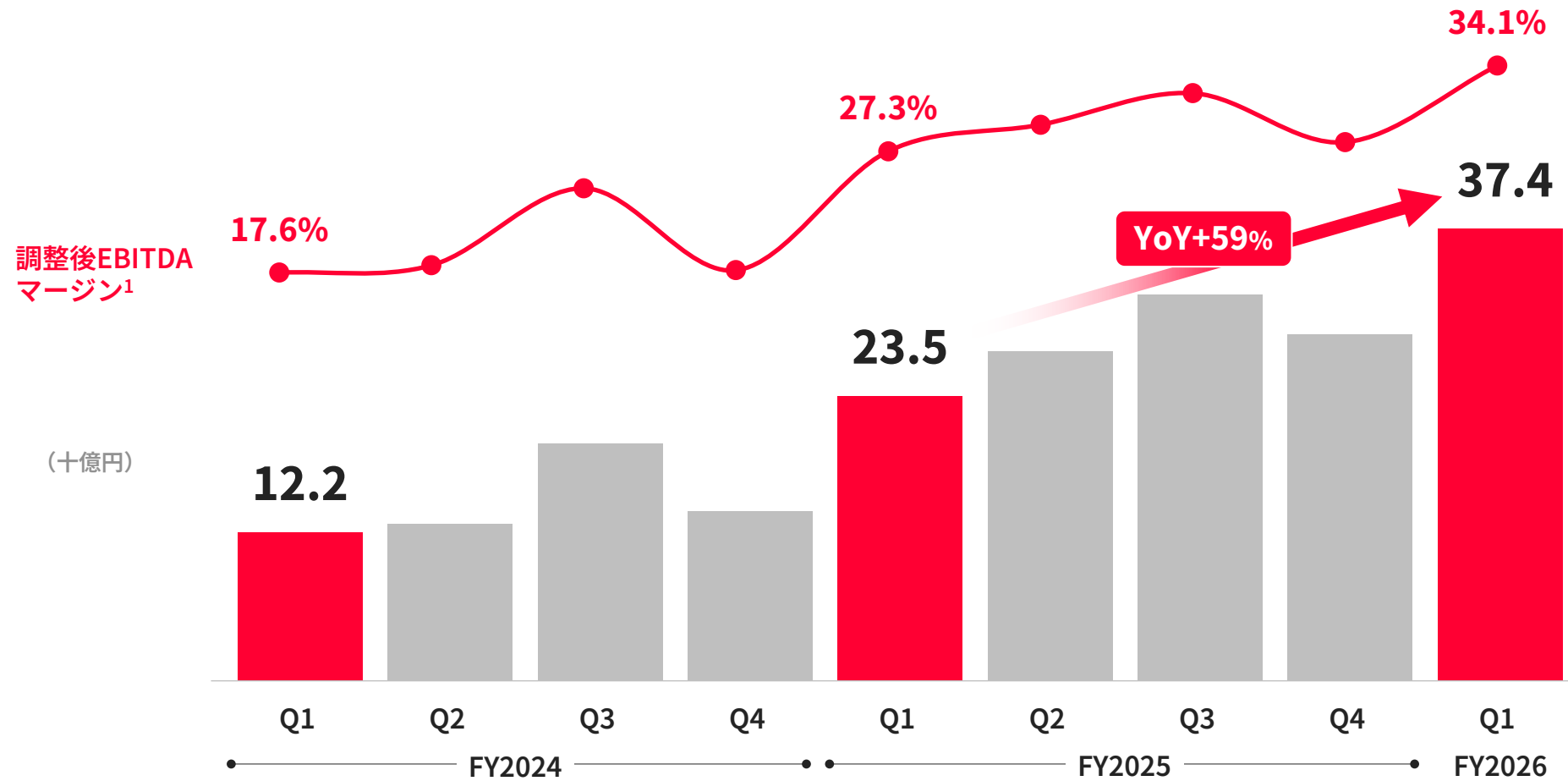


FY26Q3以降、単月 1億円 費用減¹

営業収益

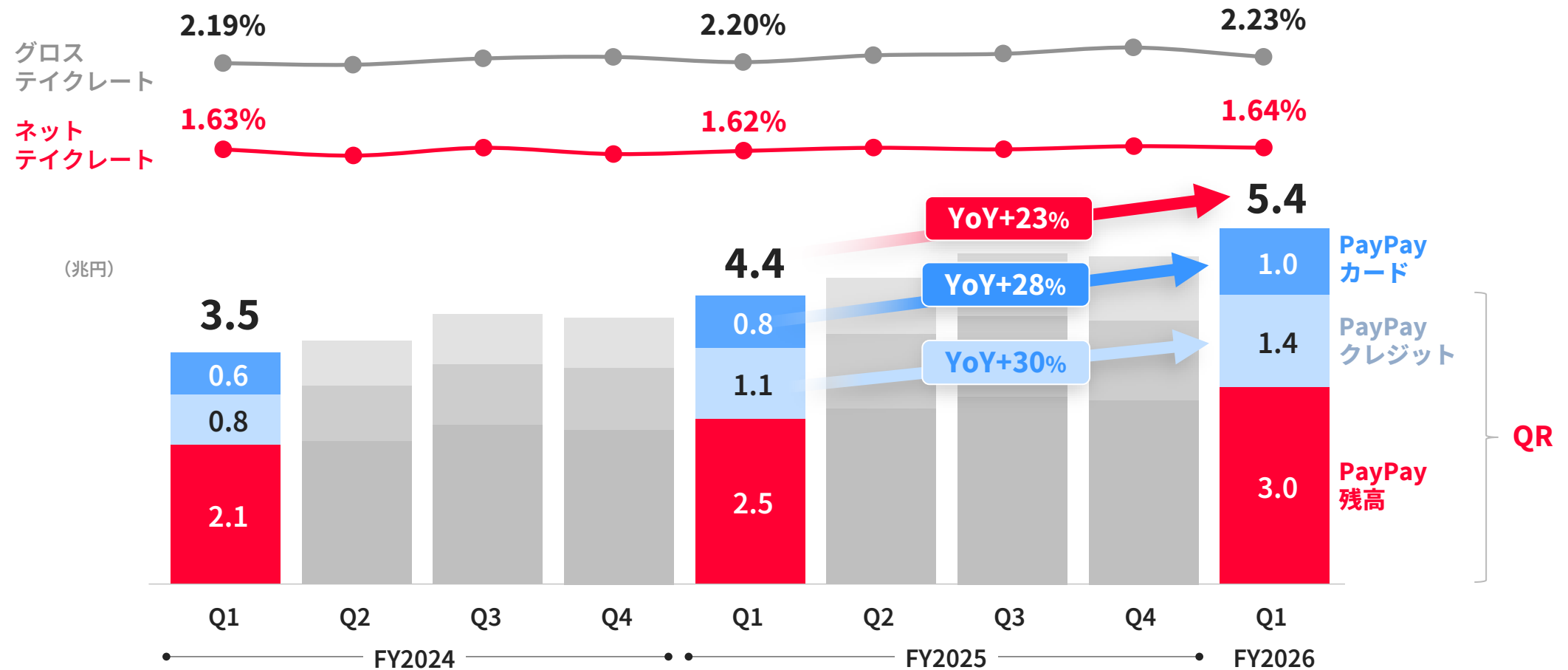


調整後EBITDA¹



1. 調整後EBITDA、調整後EBITDAマージンは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

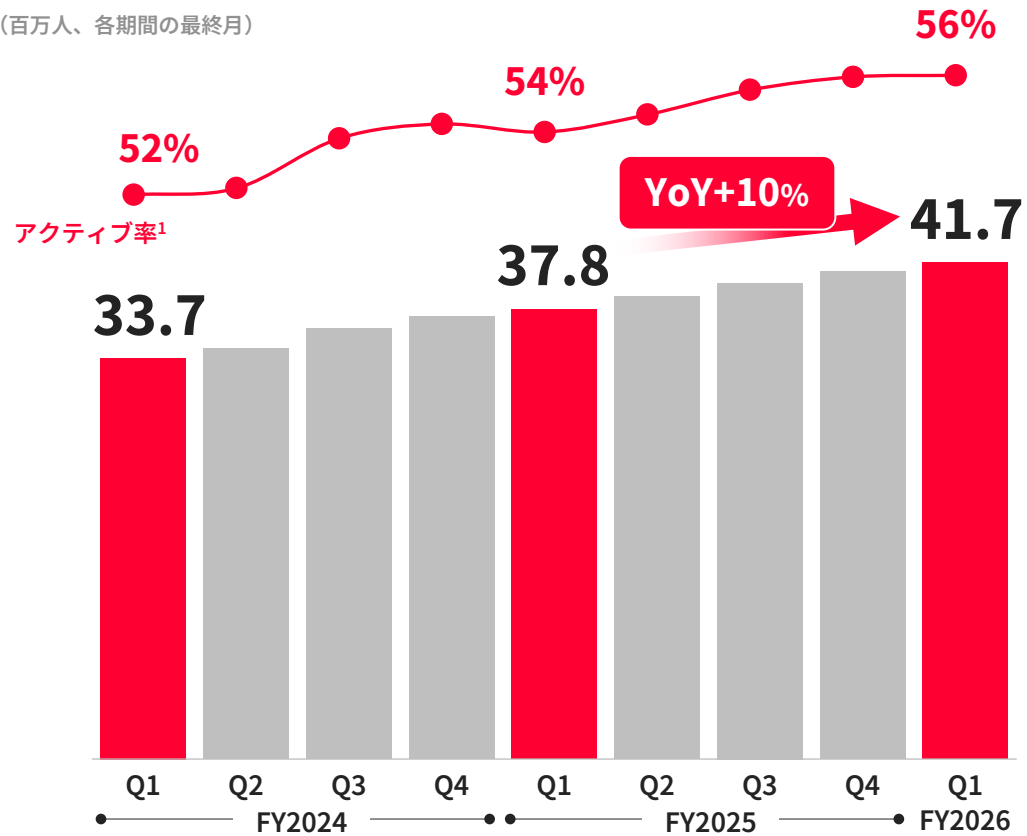
事業KPI | 決済セグメントGMV・テイクレート



事業KPI | Monthly Transacting Users (MTU)

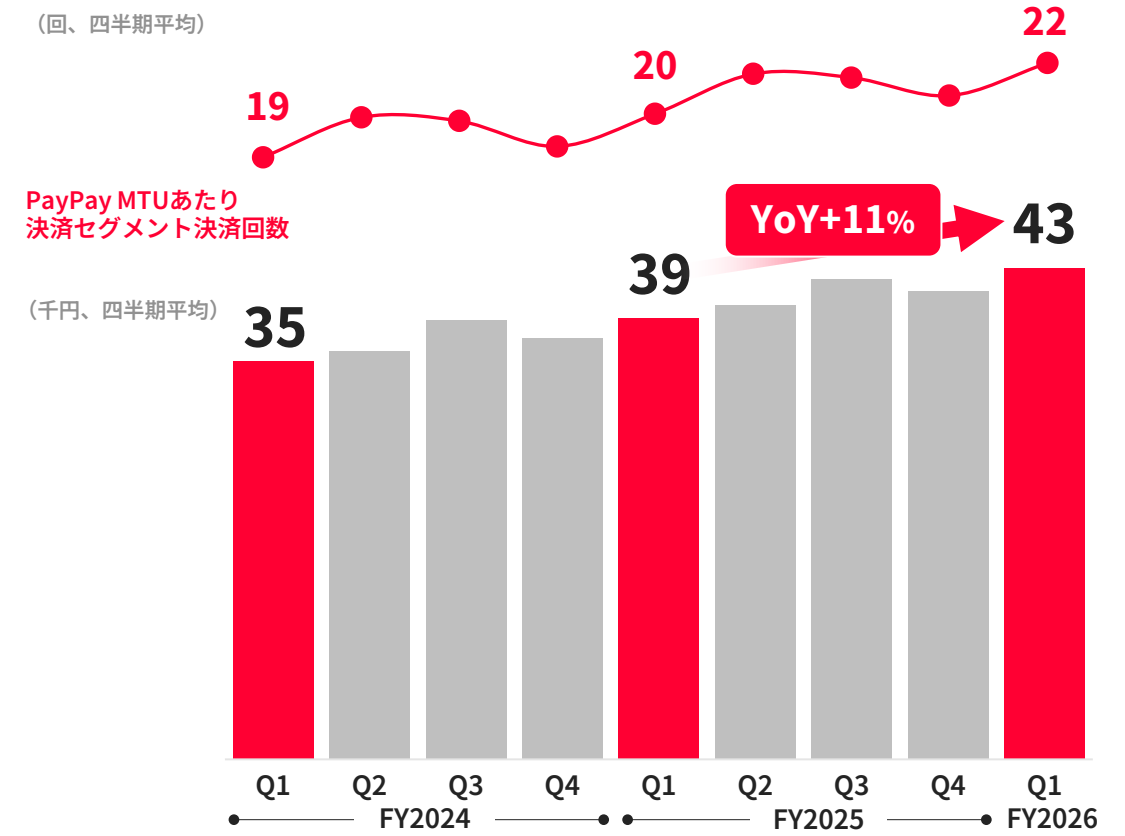
MTU

(百万人、各期間の最終月)



PayPay MTUあたり決済セグメント月間GMV

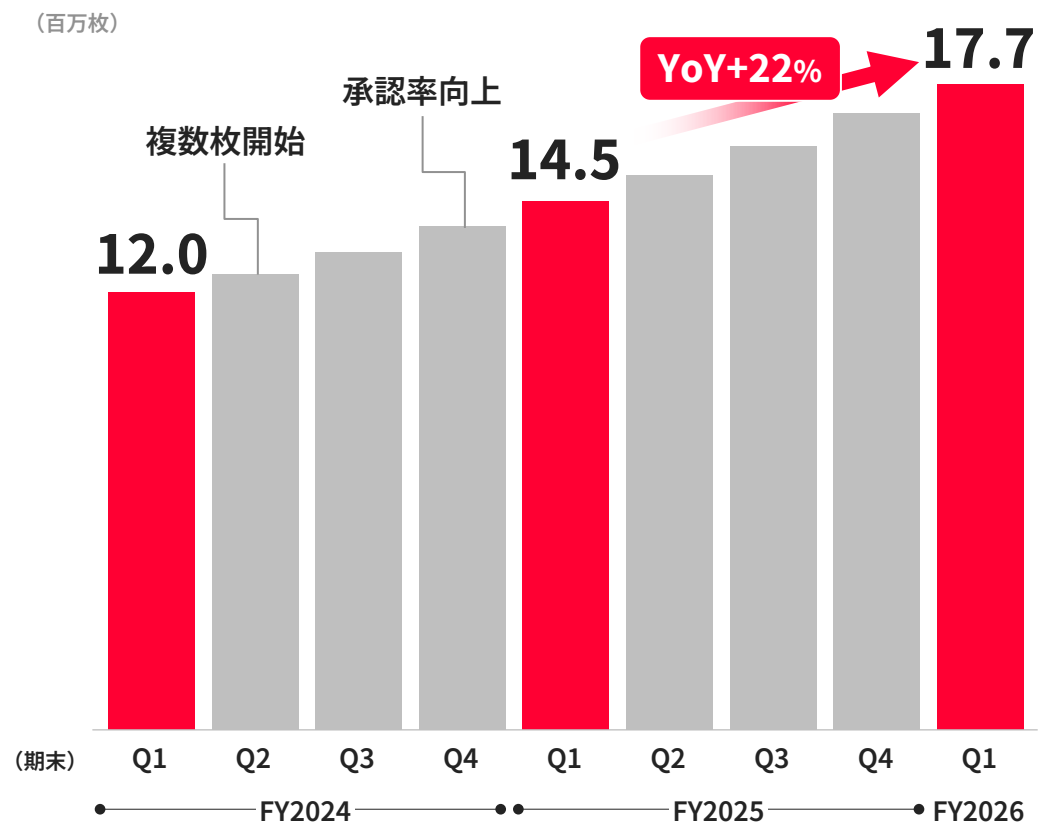
(回、四半期平均)



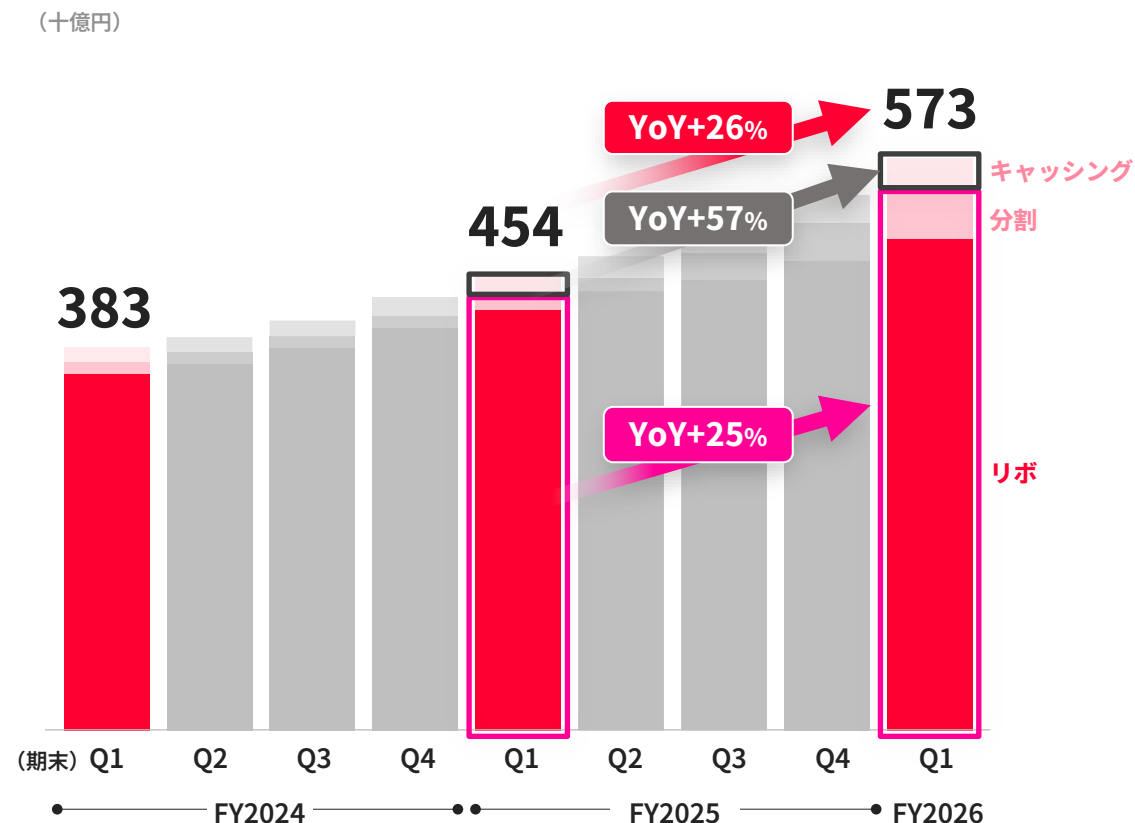
1. 各対象期間の最終月におけるPayPay MTUを、各対象期間末時点のPayPay登録ユーザー数で除して算出

事業KPI | PayPayカード

有効カード発行枚数



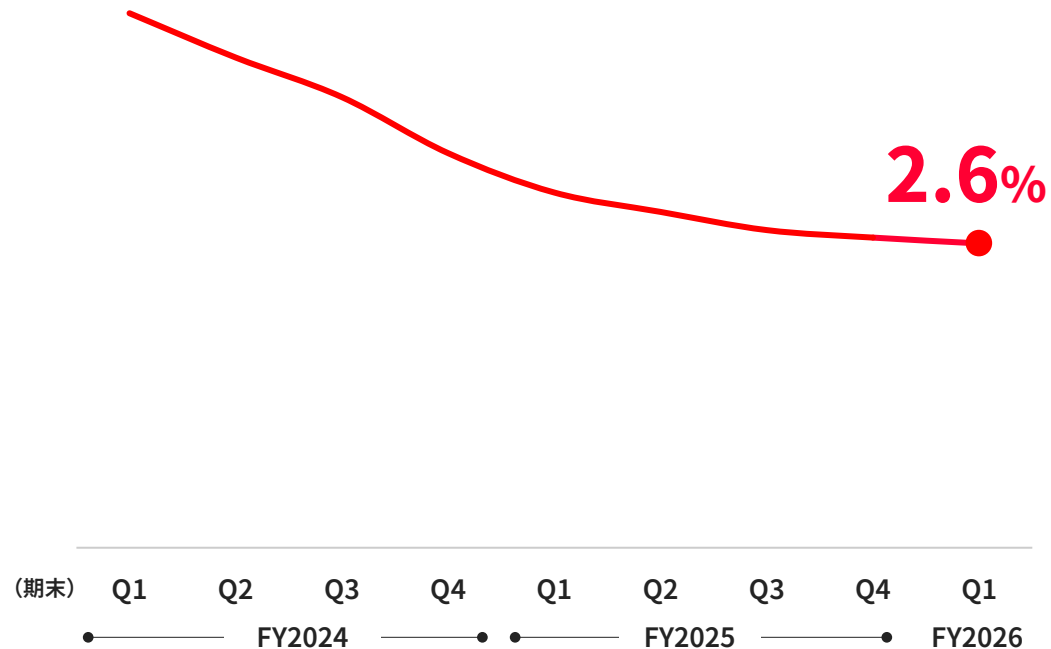
金融関連残高



事業KPI | PayPayカード — 与信指標

管理会計

不良債権発生率¹



不良債権比率

ステージ3
(不良債権：3か月以上延滞²)
5%
引当率：64%

ステージ1
(延滞なし)
94%
引当率：1%

ステージ2
(1-2か月延滞³)
1%
引当率：25%

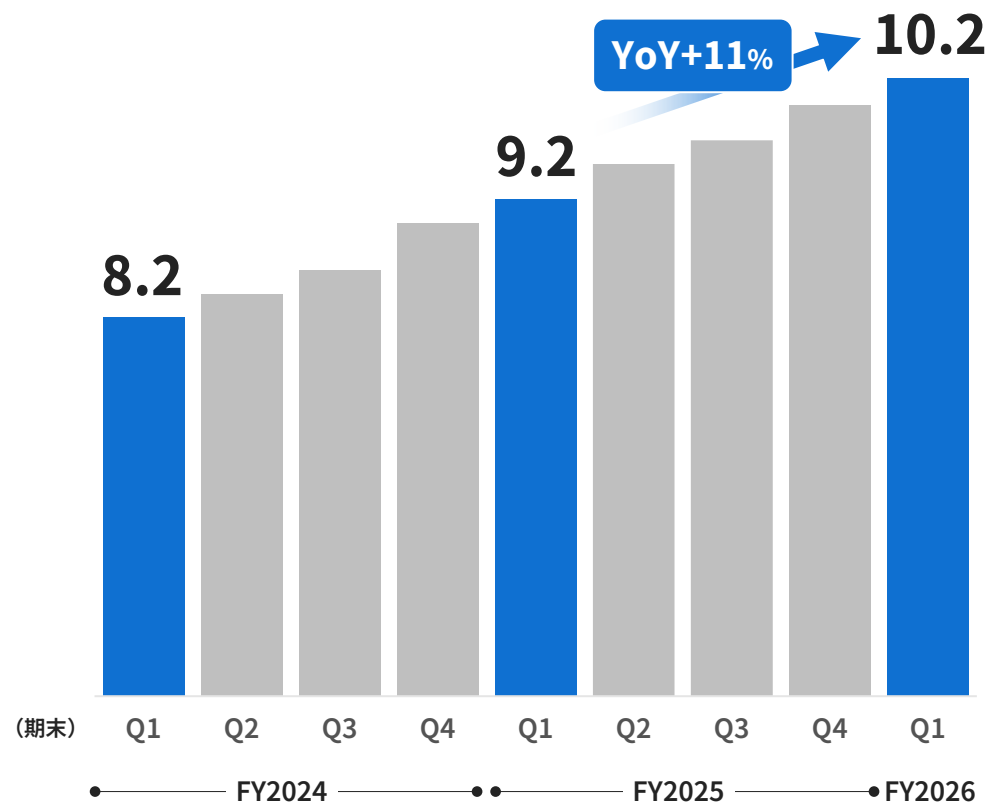
2026年6月
カード売掛金
1.3兆円
引当率：4%

1. 当四半期にステージ3債権に移行した金額を前四半期末のステージ1債権で除して算出した上で、直近4四半期の不良債権発生率の移動合計として年率換算
2. 条件変更債権等を含む
3. キャッシング債権のみ（ショッピング債権を除く）1か月未満の延滞もStage 2に含めている

事業KPI | 金融サービスセグメント

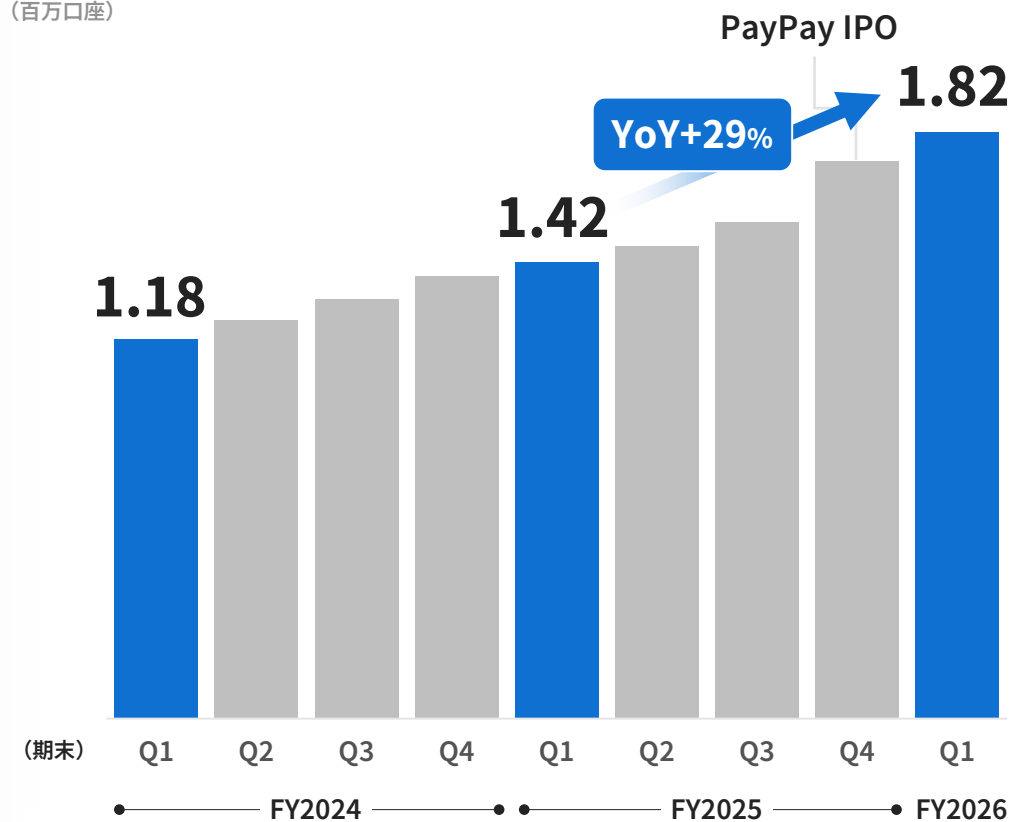
PayPay 銀行 | 銀行口座数

(百万口座)



PayPay 証券 | 証券口座数

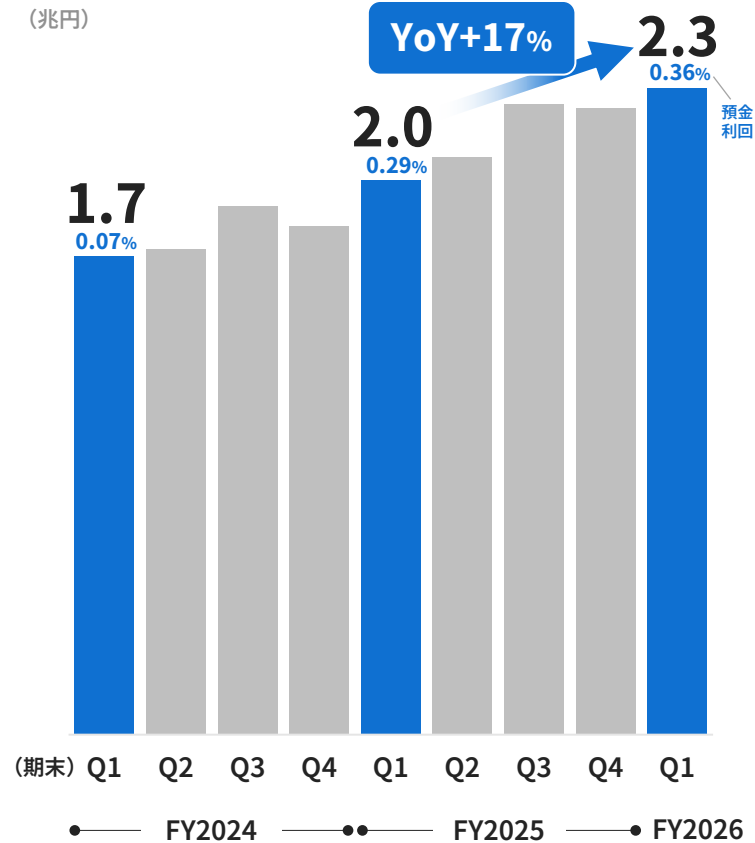
(百万口座)



事業KPI | 預貸・金利差¹

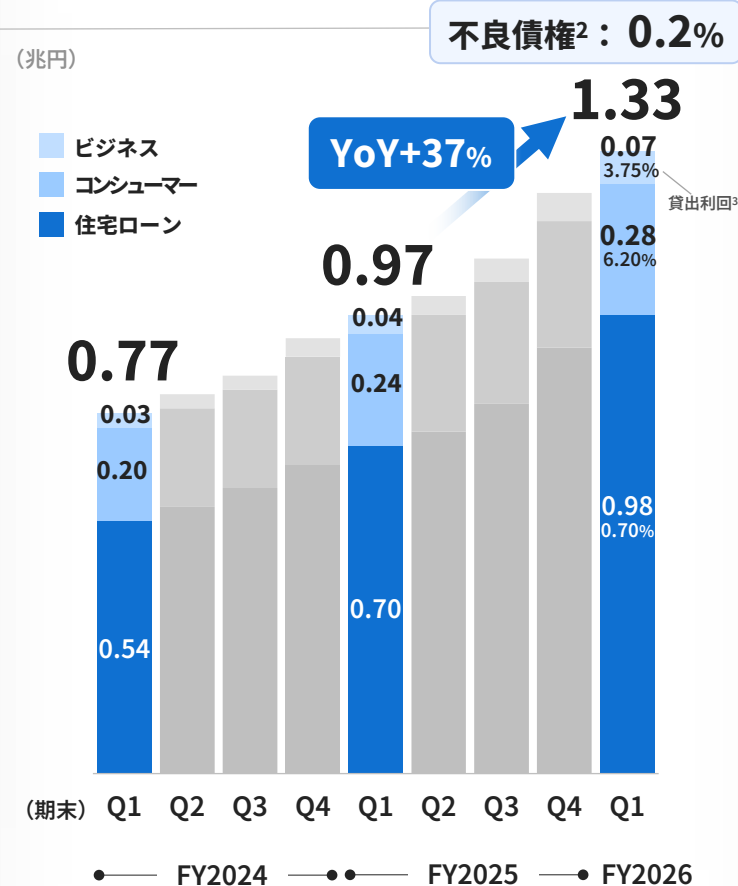
預金

(兆円)



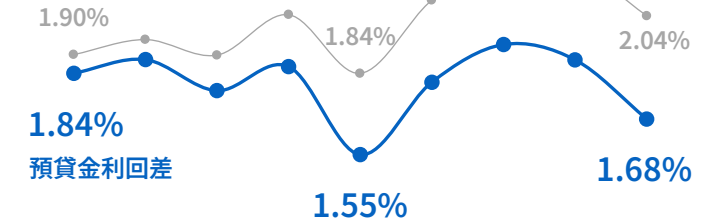
貸出

(兆円)



預貸金利回差

貸出利回



預金利回



1. 本スライドに記載の各利回、各四半期の期首・期末残高の単純平均を用いて簡易的に算出。貸出利回は保証料等控除後の数値

2. 不良債権比率は、金融再生法開示債権（正常債権を除く）の総与信額に対する割合

3. カテゴリ別貸出利回の算出に用いるビジネスローンおよびコンシューマーローンの期間収益は、それぞれ管理会計上の数値

バランスシート

26年6月 総資産

(兆円)

現金／供託金	0.5		
有価証券	1.8	預り金	3.1
貸付金	2.6	借入金等	0.8
その他	0.5	その他	1.2
		資本合計	0.4

FY2026 Q1 総資産：5.5兆円



自己資本比率

7.5%



ネットデット (十億円)

127



Q1調整後ROE (年率換算)

22.5%

FY2026業績予想

好調なモメンタムがQ2以降も継続することを想定し、通期ガイダンスを上方修正

(十億円)	FY2026 Q2	FY2026通期
営業収益	114 – 116	465 – 473
調整後 EBITDA ¹	37.5 – 39.5	149.0 – 155.0

1. 調整後EBITDAは非IFRS指標です。最も直接的に比較可能なIFRS指標への調整については、Appendixをご参照ください

Appendix

Non-IFRS財務指標および調整表

調整後EBITDA／調整後EBITDAマージン

(百万円)	FY2025 Q1	FY2026 Q1
純利益	10,809	19,749
法人所得税	5,050	10,056
持分法による投資損失	105	60
減価償却費及び償却費	5,729	6,125
株式に基づく報酬に係る費用	-	229
契約獲得コストの償却費	386	522
固定資産除売却損	182	248
上場関連費用	939	27
M&A関連費用	274	483
全社借入金および金融資産に関連する純利息費用（△は収益）	32	△103
調整後EBITDA	23,506	37,395
営業収益	86,154	109,788
調整後EBITDAマージン	27%	34%

用語集

決済セグメントGMV	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMV、PayPayカードGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPayアプリGMV（またはQR GMV）	PayPay残高GMV、PayPayクレジットGMVの総額。ただし、中止された取引のGMVは除く
PayPay残高GMV	PayPay残高、PayPayデビット、PayPay残高カード、PayPayアプリに連携されたその他のクレジットカードによる決済およびAlipay+やHIVEX®等の他の決済サービス・ネットワークを通じたPayPayコード決済による決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
PayPayクレジットGMV	PayPayクレジットを利用した決済、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよびPayPayアカウントを連携せずにPayPayカードをPayPayアプリに連携して行われた決済のGMVを指す。ただし、中止された取引に係るGMVは除く
PayPayカードGMV	PayPayカード（物理カード）を使用した決済のGMVを指す。ただし、PayPayカードによるPayPay残高へのチャージおよび中止された取引に係るGMVは除く
オンラインGMV	LINEヤフー株式会社が運営するeコマースサービス（Yahoo!ショッピング、Yahoo!オークション、Yahoo!フリマ等）内で行われた取引のGMVを除く
（ネット）テイクレート	決済セグメントの営業収益÷決済セグメントGMV
グロステイクレート	決済セグメントの控除前営業収益÷決済セグメントGMV
PayPay MTU（月間取引ユーザー数）	PayPay残高GMVまたはPayPayクレジットGMVに寄与する決済を、月間で少なくとも1回行ったユニークユーザー数。ただし、P2P（個人間送金）および中止された取引を除く。四半期または年次ベースのPayPay MTUは、当該期間の最終月の数値を示す

用語集

アクティブ率	各対象期間の最終月におけるPayPay MTUを、各対象期間末時点のPayPay登録ユーザー数で除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間GMV	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計GMV合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
PayPay MTUあたり決済セグメント月間決済回数	PayPay残高、PayPayクレジットおよびPayPayカードの四半期累計取引回数合計を、四半期累計のPayPay MTUで除して算出
PayPayカード有効発行枚数	アカウント停止中または退会済みの会員を除く、PayPayカード、PayPayクレジットおよびYahoo! JAPANカードの会員数。2024年8月以降、同一会員が複数のPayPayカードを発行している場合は、複数回計上
PayPayカード金融関連残高	対象期間の各月末におけるPayPayカードのリボ払い、分割払いおよびキャッシングの残高合計
PayPayカード不良債権発生率	当四半期にステージ3債権に移行した金額を前四半期末のステージ1債権で除して算出した上で、直近4四半期の不良債権発生率の移動合計として年率換算
PayPayカード不良債権比率	期末不良債権残高を期末債権残高で除して算出
PayPayカード引当率	期末引当金残高を期末債権残高で除して算出。未使用のカード与信枠に係る貸倒引当金は除く

用語集

PayPay銀行口座数	個人・法人双方を含む、各月末時点のPayPay銀行の普通預金口座数の合計。解約済み口座および定期預金口座を除く
PayPay証券口座数	各四半期末時点のPayPay証券の総合証券口座数の累計。解約済みまたは凍結された証券口座を除く
PayPay銀行預金残高	要求払預金および定期預金の合計
PayPay銀行貸出残高	住宅ローン、当座貸越、その他の貸出の合計
調整後ROE	親会社の所有者に帰属する純利益（法人税等調整前） ¹ を、期首および期末の親会社の所有者に帰属する持分の平均で除して算出
ネットデット	① LY Corp.からの借入金 ² +②預り金（決済セグメント）－③現金及び現金同等物（決済セグメント：現金及び要求払預金）－④供託金及び差入証拠金（決済セグメント：PayPay銀行への供託残高 ³ を足し戻し）－⑤有価証券（決済セグメント：国債）により算出

1. 2026年6月30日で終了した3か月間における実績：227億円
2. 2026年6月30日時点：200億円
3. 2026年6月30日時点：2,088億円

